

新宿区次世代育成支援に関する調査について

1 調査の種類、調査数等

調査票は発送・回収ともに郵送（回答は無記名）とし、住民基本台帳に基づく層化無作為抽出。
（ウ・エ、オ・カは同一世帯に調査、その他同一世帯の重複調査はなし）

区分	調査の種類	調査数	備考
ア	新宿区次世代育成支援に関する調査（就学前児童保護者用）	2,500	
イ	新宿区次世代育成支援に関する調査（小学生保護者用） *小学1～6年生保護者	2,200	
ウ	小学生の日常生活と意識に関する調査 *小学5、6年生	800	新設
エ	新宿区次世代育成支援に関する調査（小学5,6年生保護者用）	800	新設
オ	中学生の日常生活と意識に関する調査 *中学1～3年生	800	
カ	新宿区次世代育成支援に関する調査（中学生保護者用） *中学1～3年生保護者	800	
キ	青少年の日常生活と意識に関する調査 *15～17歳（H30.4.1現在）	1,000	
ク	若者の意識調査 *18～39歳（H30.4.1現在）	1,200	
合 計		10,100	

2 調査票を作成するうえでの基本的な考え方

区分ア、イ、オ、カ、キ、クについては、前回調査（平成25年度実施）を基本としつつ、他の調査等で代替できる等の不要な設問は削除し、必要な設問を追加する。

区分ウ、エ（小学5、6年生、保護者）については、年齢階層が引き続く区分オ、カ（中学生、保護者）と一貫性のある設問とする。

3 今回調査の視点

今回調査においては、これまでの内容に加え、3つの視点を持って調査内容を設計する。

視点1 幼児教育無償化によるニーズ増等の的確な把握

視点2 区の子育て支援事業・サービスの情報が、支援を必要とする人に確実に届いているか、また、利用されているかを把握

視点3 生活・学習・生活習慣等子どもの日常的な暮らしの状況、子ども自身の意識について、より詳細な把握

4 前回調査との主な変更等について

区分	前回調査との主な変更等
ア	・幼児教育無償化の影響を把握するための項目を追加 【視点1】 ・子育てに係る支援・サービスのニーズ把握をより細かく充実 【視点2】
イ	・子育てに係る支援・サービスのニーズ把握をより細かく充実 【視点2】
ウ	・日常生活、食事等の生活習慣、自己肯定感等の意識、将来の希望等を調査 【視点3】
エ	・保護者から見た子どもの状況、子どもとの関わり方等を調査 【視点3】
オ	・学習の習熟・習慣、食事等の生活習慣等を追加。自己肯定感等の意識をより細かく充実 【視点3】
カ	・保護者から見た子どもの状況、子どもとの関わり方を充実 【視点3】 ・子育てに係る支援・サービスのニーズ把握をより細かく充実 【視点2】
キ	・学習の習熟・習慣、食事等の生活習慣等を追加。自己肯定感等の意識をより細かく充実 【視点3】
ク	・普段の生活等を追加 【視点3】

5 今後の主な予定

平成30年11月上旬…調査票の確定、発送準備

平成30年11月5日…「広報しんじゅく」掲載（調査への協力依頼）

平成30年11月13日…調査票発送（回収期限は11月30日までを予定）

6 その他

区分ア、イは、子ども・子育て支援法に基づく子ども・子育て支援事業計画のニーズ量を把握する調査であり、ニーズ量を正確に捉えることが必要であることから、外国人家庭への対応として、日本語のほか3か国語（英、中、韓）の調査票を用意し、希望があった場合に配布可能とする。